“教員の心に　を付ける”
OJT News No.5
平成29年度
広島市教育センター

ポートフォリオで成長を実感

牛田小学校編

今年度のOJT Newsでは，［OJT News No.1］で示した「OJT実践上の課題」の５つの視点に対応した実践を紹介しています。今号で紹介する学校は，④「参加意欲・主体的な学び」⑤「組織的な取組・組織づくり」の２項目に対応した実践を行っている牛田小学校です。

５つの視点	
	①時間の確保
	②計画的な取組
	③研修指導者の確保
○	④参加意欲・主体的な学び
○	⑤組織的な取組・組織づくり

本校は，全校児童が１０００名を超える大規模校であることから，教員も多く在籍しています。教員の年齢層も２０～３０代前半の若手教員が多く，指導力の向上が大きな課題となっています。

そこで，若手教員の育成を大きな柱として本校の研究主題に盛り込むとともに，若手教員研修を研修部の分掌に位置づけ，学校全体の取組として計画しました。

研修の企画立案は，研修部に所属する指導教諭が行い，ベテラン教員が得意分野をいかして講義や実技研修等を実施しています。

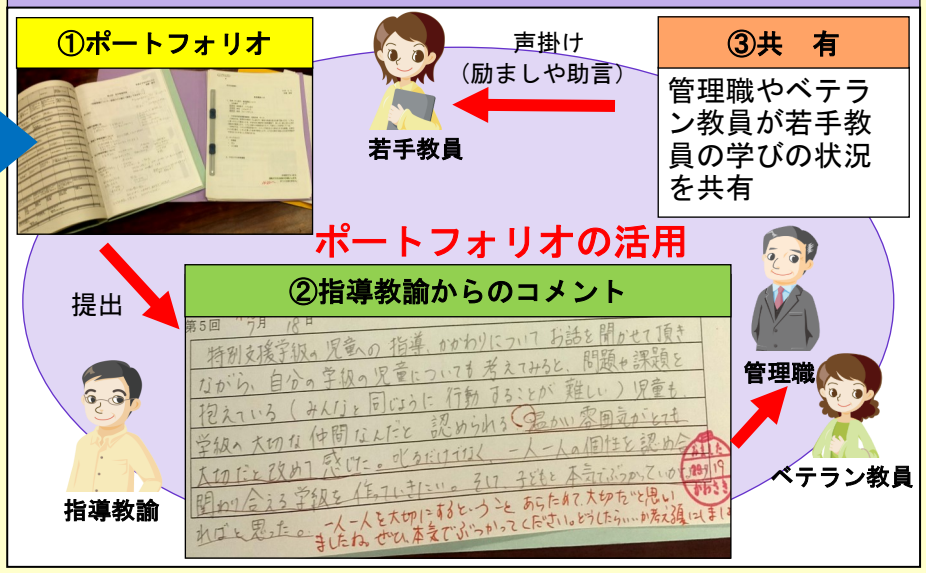
各研修は２部構成となっており，前半はベテラン教員による講義や実技研修等を実施し，若手以外の教員も参加しています。後半は若手教員のみが参加し，テーマに沿って話し合い，クラスの実態や課題などを出し合いながら切磋琢磨しています。

また，研修で学んだことはポートフォリオとして整理し，若手教員が各自振り返りを行っています。提出されたポートフォリオに指導教諭がコメントやアドバイスを記入した後，講師役であるベテラン教員や管理職と学びの状況を共有します。これらの取組を通して，管理職等が機会をとらえて若手教員へ声掛けをすることができ，若手教員の研修への参加意欲や主体的な学びにつながっています。

H29年度の研修の内容

第１回　英語科の学習について
第２回　１年生の指導と対応
第３回　つなげる食育を目指して
第４回　学級経営について
第５回　支援は○○で決まる
第６回　今後，求められる道徳科の授業（広島大　宮里教授）
第７回　体育の表現運動とは
第８回　子どもがやる気になる言葉
第９回・第10回は調整中

自己の成長を実感させる流れ



【指導教諭のコメント】

若手教員の皆さんに求めたいことは，授業に対するセンスを磨いてほしいということです。導入をどのようにするのか，授業をどう組み立て，展開していくのか，子ども達の見取りをどう授業展開に取り入れるのか，授業で何をどう伝えようとするのか等，これらすべて教員自身のセンスが問われていると思います。

センスを磨くには，自分なりのこだわりをもって教材研究に取り組み，単元全体を見通した計画を立て，できるだけ多くの授業を管理職や同僚の先生方に見ていただいて助言をしてもらうことが必要だと思っています。

【校長のコメント】

本校の強みは，専門性を有したベテラン教員がいることだと考えています。こうした強みをいかして，研究主題「“学校で学ぶ意味”を感じる授業づくり」の具現化を図るために，指導教諭が中心になり企画・立案し，教務主任・研修部長等のミドルリーダーが若手教員を支援しながら実践的な研修を進めています。

【若手教員のコメント】

研修の前半では，先輩方の経験談から今後の教員生活の参考になることがたくさんあります。また，後半では同じ世代の教員との交流の場がありとても有意義な研修です。

毎日の業務に追われてしまい，自分の実践を振り返る場がない中で，ふと立ち止まって同僚達と自分の学級のことについて話し合うことで「明日から私の学級の子ども達に～してあげたい」そう思える自分にしてくれる研修だと思います。